

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株式会社 産業タクシー株式会社	太賀・朝霧系統	路線の一部廃止により、運行経費の補填額が減少した事業者の負担を軽減するため、ダイヤの見直しを行った。見直しに際しては、待機時間の不均衡を解消し、利用者が多い時間帯に運行本数を集中させ、利便性が向上するよう努めた。	A	C	イオンなかま店の閉店に伴い利用者が減少し、特に太賀地区においては利用者数(乗車・降車の平均値)が年間で59人と大幅に落ち込んでいる。収支率も他の系統に比べて極端に低いことから、運行形態を変更するなど、抜本的な収支率の改善策を検討する。	<p>評価の指標は、系統毎の利用者数及び収支率。ダイヤの見直しに当たり、待機時間の不均衡の解消や利用者が多い時間帯への運行本数の集中など、利便性が向上する改定が行われたことを評価します。</p> <p>引き続き、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。協議会が今後の改善点として挙げた取組や、作成を予定されている地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
	有限会社ことぶきタクシー	通谷・桜台系統	路線の一部廃止により、運行経費の補填額が減少した事業者の負担を軽減するため、ダイヤの見直しを行った。見直しに際しては、待機時間の不均衡を解消し、利用者が多い時間帯に運行本数を集中させ、利便性が向上するよう努めた。	A	B	収支率は目標値を上回っており、運行状況は良好であるが、利用者が目標値に達していないことから、効果的な周知方法等を検討し、利用者の獲得に努める。		
	有限会社ことぶきタクシー	垣生・下大隈系統	運行が開始されて以降、ダイヤの大幅な改定がなかったため、見直しを検討した。乗降データを分析したところ、利用時間帯が分散しており、現時点では見直しの必要はないと判断した。	A	C	デマンド運行のため、収支率は落ち込んでいないものの、路線の一部廃止に伴って利用者数が大きく減少しており、目標値にも届いていないため、効果的な周知方法等を検討し、利用者の獲得に努める。		
	ひかり第一交通株式会社	砂山・底井野系統	運行が開始されて以降、ダイヤの大幅な改定がなかったため、見直しを検討した。乗降データを分析したところ、利用時間帯が分散しており、現時点では見直しの必要はないと判断した。	A	C	デマンド運行のため、収支率は落ち込んでいないものの、路線の一部廃止に伴って利用者数が減少しており、目標値にも届いていないため、効果的な周知方法等を検討し、利用者の獲得に努める。		